

令和5年度事業報告

社会福祉法人至誠会

ケアハウスみどりの風・おかべ

みどりの風デイサービスセンター

<ケアハウス入居部門>

(I) 入居者実績

- 1) 一般型(定員6): 6名
- 2) 特定施設(定員36): 36名

(II) 年間退居者実績

項目	令和5年度	前年度
退居者総数	9名(男性2・女性7)	9名(男性1・女性8)
退居理由	入院0名	入院0名
	死亡7名(女性7)	死亡8名(男性1・女性7)
	他施設入所2名(男性2)	他施設入所1名(女性)

(III) 年間行事実績

参考資料①参照

(IV) カンファレンス実績(年間14回実施)

実施日					
4月26日	5月17日	6月20日	7月19日	8月23・30日	9月27日
10月25日	11月22日	12月20日	1月17日	2月14日	3月6・27日

入居者様の状況(男女比・年齢・住所地・介護度の変遷)

① 一般型(1階6室)

令和6年3月31日現在

		令和6年 3月	令和5年 3月	令和4年 3月	令和2年 3月	平成30年 4月	平成28年 4月
男性		4名	3名	3名	2名	1名	3名
女性		2名	3名	3名	3名	4名	3名
男女比		66:34	50:50	50:50	25:75	20:80	50:50
平均年齢		78.0歳	75.0歳	78.5歳	84.8歳	82.0歳	82.83歳
住 所 地	藤枝市 (うち岡部 町)	5名 (2名)	6名 (2名)	6名 (2名)	4名 (1名)	4名 (1名)	5名 (2名)
	焼津市	0名	0名	0名	1名	1名	1名
	島田市	0名	0名	0名	0名	0名	0名
	静岡市	0名	0名	0名	0名	0名	0名
	その他の市町	1名	0名	0名	0名	0名	0名

② 特定施設（介護付 2・3階）

令和6年3月31日現在

		令和6年 3月	令和5年 3月	令和4年 3月	令和2年 3月	平成30年 4月	平成26年 4月
男 性		6名	8名	4名	3名	7名	10名
女 性		30名	28名	32名	32名	27名	26名
男女比		16:84	22:78	11:89	11:89	23:77	30:70
平均年齢		90.69歳	89.36歳	89.81歳	88.91歳	88.56歳	84.25歳
住 所 地	藤枝市 (うち岡部町)	30名 (23名)	30名 (23名)	28名 (24名)	28名 (14名)	21名 (9名)	24名 (9名)
	焼津市	2名	3名	5名	4名	9名	10名
	島田市	0名	0名	0名	0名	1名	1名
	静岡市	2名	1名	1名	3名	3名	1名
	その他の市町	2名	2名	2名	0名	0名	0名
介 護 度	要支援1	0名	0名	0名	2名	1名	1名
	要支援2	1名	0名	1名	0名	0名	2名
	要介護1	4名	7名	13名	14名	13名	21名
	要介護2	18名	12名	8名	5名	4名	8名
	要介護3	2名	4名	4名	6名	8名	2名
	要介護4	5名	7名	4名	6名	7名	2名
	要介護5	6名	6名	6名	2名	1名	0名
	平均介護度	2.68	2.81	2.52	2.19	2.33	1.48

(V) 感染症対策

- * 三輪医院や行政発信の情報をいち早く収集し、掲示板やグループLINE等を使い職員へ迅速な情報提供に努めてきた。
- * 静岡県の情報に基づき面会や外出等の対応を柔軟に行い家族へ報告してきた。
- * 感染症マニュアルに沿い日頃から予防に努め感染者発生時には迅速に対応。感染委員会内でマニュアルの確認や見直しを実施。
- * 職員の感染予防徹底と、施設に持ち込まない・入居者様に感染させないことを継続して行ってきた。
- * 職員や職員の子供に陽性者が出るも、時期がずれていたことで業務が滞ることはなかった。入居者の陽性者は1名のみ。その方から感染拡大することはなかった

(VI) ICT化の推進

- * 事業所間の情報連絡ツール「メルタス」を活用し情報共有に努めた。引き続き事務作業の一元化や業務量の削減に取り組み業務ではなく介護の実践を増やしていく取り組みに繋げる
- * 会議について。議事録作成時間(時間外)削減のために音声変換ソフトの活用。導入間もないが削減につなげていく。
- * パソコンを使いオンラインでの研修参加を推奨。職場から参加可できるため参加率向上につながる。
- * Instagramを活用し施設の魅力発信に努め地域の方々をはじめ多くの人たちにみどりの風・おかべを知っていただくような取り組みを意識してきた。

(VII) 入居者個別支援

- * コロナ渦において様々な制限がある中、入居者本人やその家族から面会や外出に関する問い合わせが聞かれた。その都度理事長へ報告、相談し感染症の状況を踏まえ自宅の整理、役場での手続き、お墓参り等、可能な範囲での外出を許可した。

(VIII) 防災の取り組み

- * 水防訓練（岡部聖母保育園と連携）の実施(6月)
地震・火災想定避難訓練（10月）※消防署より煙発生装置を借用
停電訓練（1月）
情報伝達訓練（1月）
消火訓練（年2回）
- * 令和5年6月2日 台風2号による影響で警戒レベル3発令に伴い1階入居者3階へ垂直避難実施
- * 非常用自家発電機の設置（6年2月）。非常時に備え毎月行われる防災委員会内にて試運転を行い操作方法、切り替え開閉器の場所、主観ブレーカの場所、停電時の使用可能コンセントの場所の確認をしている

(IX) リハビリの実践

- * 午前中は集団体操、午後には個別リハビリを行いながら継続的な活動の場を提供できている
- * 3階リハビリ室の活用について。リハビリ職員同士での連携を図り通所利用者は午後、ケアハウス入居者は午前中と夕方に上手くご利用いただいている。
- * リハビリ部門長も参加する月1回の会議を毎月実施しリハビリ部門として情報を共有。みどりの風3人のリハビリ職員からの提案で週1回行うリハビリミーティングの場も新たに設置。通所と入居、部署を越えた連携に繋げている。
- * 新規や退院時入居者受け入れの際、みどりの風のリハビリ職3名で連携を図り入居前情報を共有、受け入れ体制を整えている。

(X) 研修計画

- * 年間研修計画に沿って研修、訓練、勉強会を試みるもコロナ渦において集合するのがより難しく定例開催した委員会の中で実施した場合が多くあった。参加人数は少ないも月1回行っているカンファレンスでの説明や、職員玄関の場所を活用し資料配布を行った。
- * 職員玄関の掲示板を整理しオンラインを中心とした研修案内を随時行ってきた。

(XI) 広報活動

- * Instagram を新規開設し約 1 年が経過。施設の取り組みや入居者様の生活の様子、空室状況や地域の情報等を外部へ発信してきた。
 - * 第 12 回静岡県高齢者福祉研究大会へ参加し「看取りケア」に関する発表を行った。施設の名前や取り組みを広めた。他施設の職員との交流もあり新たな関係構築の場にもなった。
 - * 就職相談会等へ出向き「みどりの風・おかべ」を知ってもらう事、将来的に就職へ結び付く活動として繰り返し参加していく。
- ※令和 5 年 6 月 19 日。県社協から依頼があり藤枝 Bivi で行われた「福祉の現場見学会&個別相談会」に参加。会場と施設をオンラインで結び活動の様子をみていただき説明を行った。
- * 地域包括支援センターや藤枝、焼津の社会福祉協議会との連携、ユニケア岡部との情報共有から待機者の確保に繋がっている

参考資料① 令和5年度年間行事実績

月	法人	ケアハウス	デイサービス	共同行事・訓練等
4		フルーツサンドイッチ作り(17日)	11周年お祝い(1日) 桜・藤花見 深層ミュージアム見学	ガウンテクニック(5日)
5	監事監査(22日) 理事会(29日)	新茶会(8日)	新茶会(8日) バラ花見	
6	評議員会(15日) 理事会(15日)	運動会(28日)	アジサイ花見 おやつバイキング(27日)	活動交流集会(21日) 水防訓練(27日) (岡部聖母保育園と合同)
7		ソフトクリーム(18・20日)	ひまわり畑花見 ソフトクリーム(21日)	消火訓練(24~28日)
8	理事会(17日)	七夕飾り(1日)	七夕の会 納涼会(9日、10日)	
9	理事会(19日)	敬老会(20日)	敬老会(18日) 彼岸花花見	
10		秋のお楽しみ会(29日)	コスモス花見 運動会(16日、17日)	防災訓練(18日)
11		焼き芋(7日) 味噌作り(20日)	味噌作り(14日) 恵比寿講(17日)	
12		忘年会(13日) 音楽会(19日)	忘年会 ヒマラヤ桜見学 银杏紅葉見学	認知症介護基礎研修(19日)
1	理事会(16日)	新年会(4日) 節分の会(31日)	新年の会	情報伝達訓練(9日) 停電、炊き出し(28日)
2			節分の会 河津桜花見 スキンケア勉強会(8日)	嘔吐処理手順(7日) 炊き出し訓練(8日) 消防検査(21日) マグロの解体ショー(21日)
3	理事会(30日)	玉露の里花見(25日)	木蓮花見 介護保険改正勉強会	消火訓練(28日)

通年行事

ケアハウス	デイサービス
<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶の時間(毎週火曜日午後) ・売店の実施(毎週金曜日午後) ・園芸活動(4月下旬 さつま芋植え) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアカンファレンス・サービス担当者会議 ・クラブ活動(園芸・調理・作品・手芸・音楽・なごみ)
<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防委員会(毎月第1水曜)・事故(虐待・拘束)委員会(第3水曜)・防災委員会(第3金曜) ・ケアカンファレンス(毎月1回)・リハビリ会議(毎月1回)・部門長会議(毎月1回) ・給食委員会(不定期) ・ユニケア岡部と合同開催：企画会議(第3火曜日) 	

<デイサービス部門>

(I) 年間利用者実績 (定員40名)

* 終了者が多くみられ、前年度のような利用率の維持が難しい一年であった。

項目	令和5年度	令和4年度	令和3年度
営業日数	307日	308日	308日
年間利用延人数	8,176名	8,634名	8,369名
平均利用人数(土除く)	29.6名	31.0名	29.7名
平均介護度	2.5	2.0	2.2
新規件数	24名	16名	31名
再開件数	14名	9名	9名
終了件数	36名	25名	20名
休止件数	16名	10名	6名
利用増件数	23名	22名	20名

年間中止者・休止者の内訳 (計52名)

* 例年に比べ、入院・入所のケースが非常に多くみられた(前年度は計35名)。

項目	令和5年度	令和4年度	令和3年度
死亡(自宅)	8名	6名	2名
入院	16名(終了3・休止13)	9名(終了0・休止9)	6名
ユニケア入所	12名(うち在宅復帰2)	10名(うち在宅復帰1)	11名
ケアハウス入居	4名	4名	0名
他施設入所	11名	3名	5名
その他	1名(自宅療養1)	3名(転居1・自宅療養2)	2名

利用者の内訳 (実人数66名:令和6年3月31日)

* 要支援のご利用者が減少した(前年度は8名)。

介護度				年齢		性別		居住地	
要支援1	0名	要介護1	15名	60代	1名	男性	15名	藤枝市岡部地区	41名
要支援2	3名	要介護2	28名	70代	7名	女性	51名	朝比奈地区	10名
		要介護3	9名	80代	31名			葉梨・広幡地区	15名
		要介護4	4名	90代	25名				
		要介護5	7名	100代	2名				
		平均介護度	2.3	平均年齢	87.8歳	男女比	23:77	居住地比	62:15:23

(II) 年間行事实績 参考資料①参照

* コロナ対策の緩和によって活動内容の幅は広がり、戸外活動も積極的に行えるようになった。デイサービスらしい活気を、ようやく取り戻せた一年であった。

(Ⅲ) カンファレンス実績 (計 166 件)

*他部門・多職種との担当者会議を多く開催できるようになった。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
17件	13件	12件	8件	18件	20件	7件	12件	16件	15件	11件	17件

(Ⅳ) 事故、ヒヤリ・ハット報告件数 (計 30 件)

*ヒヤリ・ハット報告を積極的に行い、事故発生件数の減少へと繋げることができた。

事故報告 16 件					
外傷(皮むけ・出血・内出血)	4 件	異食	2 件	転倒(骨折)	1 件
車体を擦る	3 件	自転車と接触(送迎)	1 件	車椅子から降りて床を這う	1 件
外へ出てしまう	3 件	椅子から落ちかかる	1 件		

ヒヤリ・ハット報告 14 件					
バランスを崩す	5 件	シャワーチェア手摺かけ忘れ	1 件	浴槽内で足が滑る	1 件
膝折れ	1 件	気切部の保護忘れ	1 件	湯桶が足に落下	1 件
肘掛けに腕をぶつける	1 件	駐車中に降車してしまう	1 件	ポケットからガラスコップ	1 件
自宅外階段を降りてしまう	1 件				

(Ⅴ) 心と体を元気に!!の実践

*コロナウィルス感染症が5類へと移行。これまで控えていた調理・カラオケ・外出等の活動が盛んに行われ、多くのご利用者の「喜び・意欲向上」へと繋げることができた。

(Ⅵ) 2チーム制への取り組み

*12年間継続してきた3チーム制を、近年の高齢者ニーズに合わせ2チーム制へと変更した。様々な課題に対し、各チームが一つ一つ丁寧に向き合い解決に取り組んだ。2チーム制に変わったことでスタッフの視野は広がり、お一人おひとりのご利用者に、より多くの視点を活かしたケアが行えるようになった。又、重介助の負担を多くのスタッフで分散できる環境、職員のスキルアップや働き易さ、余力の活用にも繋げることができた。

(Ⅶ) デジタル化の取り組み

*個別機能訓練計画書の作成にワイズマンを活用。厚労省と連携を図り「個別機能訓練加算Ⅱ」の算定が行えるようになった。機能訓練カルテにもワイズマンを導入し、部門内外で利用者情報の共有ができるようになった。又、事務作業の効率化にも繋げることができた。

*インスタグラムを開始し、デイの魅力発信に努めた。「様子がよくわかって嬉しい」「家庭内のコミュニケーションに役立っている」「職員さんの頑張りが有難い」など、ご利用者のご家族や地域住民からも多くの感想をいただいている。遠方で暮らすご家族に安心を届ける手段が増え、新規利用者にもより分かり易い説明が行えるようになった。

(Ⅷ) 介護保険改正への備え

*令和6年度の介護報酬改定に備え、ご家族に説明・同意を行った。変更点の勉強会を開催し、無事に新体制を迎えることができた。又、今年度は中・重度者の割合が増加したため、4月から「中・重度者ケア体制加算」を算定できることとなった。